

議会だより

2011年 2月 北海道中川郡豊頃町議会発行



第4回定例会は、12月3日に招集され、補正予算など20議案を、いずれも原案どおり可決し、16日に一般質問等を行なって閉会しました。



一般会計ほか5特別会計で

総額1億1千102万円の

追加補正予算を可決

平成22年度一般会計ほか5特別会計が下表のとおり補正されました。

おもな補正の内容は、人事院勧告に基づく職員等給与と表の減額改定による給料・手当・共済費などの人件費の減額、各事業等の確定による減額などのほか、ふるさと振興基金への積立、(仮称)はるにれ多目的活動センターの備品、旧茂岩河川事業所土地・建物の取得、緊急雇用創出推進事業、商工会法施行50周年記念事業補助金(プレミアム付特別商品券追加発行)、12月3日の発達した低気圧の接近による一時的な大雨による災害補修などに係る経費の追加を行ったものである。

平成22年度各会計補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	9,847万5千円	40億2,290万4千円
国民健康保険特別会計	1,216万5千円	6億2,449万0千円
介護保険特別会計	529万6千円	3億1,720万5千円
後期高齢者医療特別会計	△ 110万6千円	4,572万4千円
簡易水道特別会計	△ 371万8千円	2億8,060万0千円
公共下水道特別会計	△ 9万5千円	2億1,565万0千円

補正された主な内容

(一般会計)	
ふるさと振興基金積立	13,022万0千円
(仮称)はるにれ多目的活動センター備品	620万1千円
旧茂岩河川事業所土地・建物の取得	866万1千円
緊急雇用創出推進事業	352万9千円
商工会法施行50周年記念事業補助金	287万6千円
町道災害補修	250万0千円
(国保会計)	
システム改修費	220万5千円
療養給付費	816万0千円



での行政報告 ★

◆農林水産業の概況について

農業の概況については、6月中旬からの異常高温によって豆類を除く農作物が影響を受け、収量が減少している状況にある。

既に報告のとおり小麦は、成熟期間が1週間以上も早まり小粒となったため昨年に引き続き収量が大幅に減少した。

甜菜については、異常高温の影響を大きく受け重量及び糖分が平年より大きく減少。馬鈴薯についても収量が減少し、一部には急激な肥大による空洞化が見られる。

人参、牛蒡など秋野菜は収量が前年を上回り、野菜全般において市場価格の高騰により昨年より販売額が増加している。

畜産においては、異常高温により一部体力低下、乳房炎の発症が見られたものの、生乳生産は管内平均を上回り増加している状況にある。

この秋政府は、突如としてアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向けた道筋の中で唯一交渉が開始されている環太平洋パートナーシップ（TPP）協定について、その情報収集を進めながら対応していく必要があり、国内の環境整備を早急に進めるとともに、関係国との協議を開始すると表明している。

このTPP参加如何によっては、本町農業等は壊滅的な影響が想定されることから、農業関係団体はもとより、本町一丸となって参加阻止に向け行動していく。

水産の概況については、漁期前のサケマスセンターの来遊予測では、対前年比20パーセント減と予想されていたが、大津漁港での水揚げは、予想を大きく下回り60パーセント以上も減少している。

また、ししゃも漁については、漁獲量は増加しているものの魚価については下落している。

また、サケ定置時期に発生する流木については、本年は海岸管理者である北海道がグリーンニューディール基金を活用し、漁業に支障がないよう処理されている。

最後に林業の状況であるが、本年から豊頃町産業振興補助制度により伐採跡地の荒地解消に向けた民有林の植林助成を行うこととした。

この制度により、昨年の3倍、約80ヘクタールの山林に植林がされた。



TPPから地域を守る十勝大会

◆地域密着型特別養護老人ホームの創設について

社会福祉法人豊頃愛生協会において計画している地域密着型特別養護老人ホーム（29床）については、施設の事業計画が決定し、去る11月18日「平成23年度地域密着型特別養護老人ホーム創設に伴う財政支援について」の要望書が本町に提出された。

入居者の誰もが「生きがい、憩い、交流」を享受し、「しあわせ」を感じとることのできる施設建設のため、場所を旧茂岩小学校グラウンド南側敷地とし、その使用については、町からの無償貸付を望んでいる。

鉄筋コンクリート平屋建て（29床）、総床面積1,631平方メートル、建築主体工事費約3億4千万円など総事業費約4億4千万円を予定。

資金計画については国からの交付金を約1億2千万円見込み、自己資金約8千万円、残りの約2億4千万については町からの財政支援を望んでいる。

本事業については、平成23年度当初に国から事業認可される見込みであり、その後着工、年度内に完成し、平成24年度からの供用開始が予定されている。

町では、事業計画書を十分精査のうえ、助成する額、起債の借入など関係機関と協議を進め、財政の許す範囲内で要望に応えるよう努力したいと考えている。



★ 第4回定例会

◆旧茂岩河川事業所「土地・建物」の取得及び利活用について

旧茂岩河川事業所は、その機能を池田河川事務所に移行し、平成16年3月をもって閉所した。

このことから、北海道開発局から土地約7千平方メートル及び旧事務所ほか9棟の建物について、本町に対し取得に向け検討するよう再三にわたり要請を受けていた。

当初示された売却価格は5千万円と高額なこともあり、本町としては静観していたが、本年に入り具体的な評価額と諸々の減額内容の提示があり、庁内に検討委員会を設置し、取得及びその利活用等について協議してきた。

事務所については地域集会施設及び防災避難施設として、その他の施設については防災・除雪等関連資機材の保管庫等として今後整備を進め利活用することとした。

なお、地域住民からは敷地内の草刈り及び空き施設等の適正な管理に関する要望もあり、防犯及び景観の面からも対応したい。



旧茂岩河川事業所

◆豊頃町地域情報通信基盤整備事業の進捗状況について

豊頃町地域情報通信基盤整備事業の進捗状況については、現在、工事に必要とする各種占用手続きをほぼ終了し、電柱の新設並びに光ケーブル敷設工事と並行して地上デジタルテレビ放送難視聴世帯の宅内工事に着手しているところである。

工事の進捗状況として、電柱の新設は計画の約60パーセントに当たる570本を終了し、年内完了の見込みである。

光ケーブル敷設工事については、計画の約53パーセントに当たる130キロメートルを終了し、来年

2月上旬には完了を見込んでいる。

また、地上デジタルテレビ放送難視聴230世帯に関わる宅内工事については、12月から来年2月中旬を目途に完了を予定している。

全体工事は、来年2月中のサービス提供を目指して工事を進めてきたところであるが、全道53自治体が一斉に事業を実施しており、資材及び作業人員の確保、さらに北海道電力の電柱への供架許可が難航したことによる経路変更等により、予定より約1か月程度の遅れを生じている。



光ケーブル敷設工事

◆都市間バス帯広-釧路線「すずらん号」の廃止予定について

帯広-釧路線「すずらん号」は、毎日2往復(4便)運行されているが、利用者の減少等により、平成23年3月末をもって廃止したい旨十勝バス(株)及びくしろバス(株)から通告を受けたところである。

平成21年度運行実績によると1便当たりの輸送人員が9.1人、その内豊頃町民の利用実績が年間延べ665人、1便当たり0.4人となっている。

平成21年度以降における本町負担の年額70万円ほか関係市町村の負担金を算入してもなお両社の経常損益は単年でマイナス2,500万円に達していることから、平成23年度以降において路線を維持することは不可能であるとの申し出があった。

なお、十勝バスの試算では、現状の運行体制を維持することとして豊頃町が全額負担とした場合、年間約1,000万円程度の負担となることから、庁内に「交通対策会議」を設置し、平成23年4月以降の豊頃-帯広間の通院等における町民の交通手段確保について検討し、併せて本町における将来的・総合的な交通対策の指針を作成していきたい。



一般質問

造林未済地の防災対策 積極的に安全対策に努めたい

宮口町長 本町は、農業、漁業を主体とする産業体系であり、山林の持

藤田博規議員 伐採後、植林されていない状況が見受けられるが、そのまま放置すると、保水能力が低下し、土砂等の崩落により、新たな災害の発生が懸念される。環境問題、河川の汚染ばかりでなく、生物多様性の面でも影響が危惧され、国土保全や地球温暖化防止など、多面的機能がある森林資源を適切に整備していくことが今後大事かと思うが、現状はどのようなになっているか。

宮口町長 町有林として管理することは好ましいが、災害の起きやすい山林等については、国や道に要望し、補助対象にならない場合については、単独で治山事業をこれまで行ってきた。今後、災害等が発生する可能性のあるところについては、十分検討し積極的に安全対策に努めたい。

つ治水、治山機能を重視し、各産業団体が連携し、十勝川魚つぎの森植樹祭を毎年行い、植林の重要性をPRしている。平成21年度及び平成22年11月まで提出された伐採届の状況は、人口林、天然林合わせて313ヘクタールであり、そのうち跡地植林面積は140ヘクタール、残りは天然更新を希望している。

本年度から5年間、豊頃町産業振興事業の重点項目として民有林植林奨励事業を創設し、昨年の3倍にあたる約80ヘクタールの山林に植林が行われた。

藤田博規議員 造林未済地において、環境への影響や土砂の流出等の災害が予想されるところについては、何らかの対応が必要であり、町が土地自体を買い上げることなども必要ではないか。

緊急地震速報の活用 学校などへ受信機を設置したい

藤田博規議員 地震による強い揺れを事前にとらえて知らせる緊急地震速報を、テレビ、ラジオ等を通じて一般にお知らせする制度が開始されている。人的、物的被害を軽減させることが目的であるが、緊急地震速報を受信してから強い揺れが到達するまで短時間であることから、適正に活用されるには国民の理解が必要と言われている。緊急



伐採跡地での植樹祭

地震速報の発生時の行動計画、町民への周知はどのように進められているのか。あわせて受信機を設置状況等についても伺いたい。

宮口町長 緊急地震速報を受けたときには、町としても速やかな対応をとってきたところである。現在、道の防災情報通信整備事業で、本町の防災通信網を整備し、役場庁舎や豊頃消防署に端末機の設置を予定しており、速やかに防災無線を通じて住民に周知を図る方策を検討している。また、学校や保育所など大きな施設には受信機の設置を図りたい。

藤田博規議員 大地震により災害が発生しているが、それに備えた対応が、今後必要かと思われる。人の集まるところで無事に安全に避難できるには、どのような対応が必要か。

宮口町長 本町は、海岸線を有しており、非常に津波の災害を受けやすい。このような地域については、今後も啓蒙活動をしながら、年に一度の防災訓練とさらなる住民の意識向上を図りたい。学校、保育所、会館施設等については、受信機を設置して、災害を未然に防ぎたい。



特別養護老人ホーム整備計画

待機者解消のため支援したい

大崎英樹議員 特老ホーム事業は、本町の福祉事業を担う代表的施設であることは理解している。新規建設についても住民と共に積極的に推進すべきことを前提に将来的見地から既施設の現況と課題について検証の意味から伺う。

宮口町長 昭和58年度建設、築後26年経過して老朽化と狭隘のため全面改修を要する。今回、ところ庄より50床の他に29床の密着型特老計画が出された。町としては待機者49人(平成22年3月調)の解消にもつなげるため助成を検討しているところである。

大崎英樹議員 現施設に対する消防法規定ではスプリンクラーの新設整備が急を要するものである。また、ボイラーの整備。個室ユニットの新設整備について行政としてどのように考えているのか伺う。

宮口町長 とよころ庄の運営の中では小規模改修や法的な指導を考慮のうえ、行政として適切に対応したい。23年度中には実施を考えた。大崎英樹議員 現状の50床に対し、

新規地域密着型施設29床の建築計画について伺う。

宮口町長 入所を希望されている町民の家族の方々への介護について全ての解消までは至らないが待機者の受け入れには希望をつなぐことになると考えている。

大崎英樹議員 「フストの縮減を考えると他の施設への考えや今回の町からの支援金額2億4千100万円について伺う。

宮口町長 事業主体の企業努力は当然お願いするし、その施設を利用する家族の方にも若干の負担は出てくるものと思っている。また、町支援については過疎事業に該当することから過疎債で対応する。この起債においては、地方交付税で約75パーセントが措置される見込みである。



特別養護老人ホームとよころ庄

十勝ロイヤルホテルのあり方

庁内検討委員会で検討中

大崎英樹議員 十勝ロイヤルホテルの賃貸契約の内容について伺う。

宮口町長 現在、賃貸契約は平成21年4月1日に締結しており、期間は平成24年3月31日となっている。内容については、土地・建物・什器・備品やホテル関係者の住居としての公営住宅となっている。

大崎英樹議員 貸与されている経営者から平成24年3月31日以降継続延長を申し出た場合はどのように対応されるのか。

宮口町長 宿泊施設の方角性と合わせて、期限満了時には施設維持か建て替え直すか検討委員会で検討している。また東十勝ロングトレイルの状況等情報提供を受けて検討したい。できれば指定管理者制度を利用して宿泊施設の公設民営などの幅広い視野で継続する場合は考えていくべきと思う。

大崎英樹議員 副町長が代表となっている審査委員会において平成22年8月31日、数社による今後の十勝ロイヤルホテルのあり方についてプレゼンテーションが行われたがその状

況について伺う。

宮口町長 国土交通省の助成を受けて、東十勝ロングトレイルの活動協議会の中で町づくりの課題として検討をしているところである。宿泊施設を含めた全体的な構想をもって進めて行くこととしていっているので、結果が見えるには今しばらく時間が必要である。

農林業のエゾシカ対策

電牧に財政支援を

森 一彦議員 近年、新聞でも報道されておりますように、特に増え続けるエゾシカの被害対策についての考え方は。

宮口町長 電牧については更新・新規設置の希望が多くなっており、新年度から財政支援をしていきたい。また、ハンターが減少していることから、狩猟免許が取得し易い環境整備にも町村会一丸となり努めてまいりたい。

広報とよころ

議会だより

役場だより



土地基盤整備事業の考え方

国や道に予算確保を要望

津久井精一議員 本町の農業振興上、土地基盤整備は不可欠である。近年は雨量が多く、水はけの悪い畑が見受けられる。幹線明渠排水や暗渠排水の整備が望まれるところであるが、国の財政的な問題もあり事業の採択が厳しい状況にある。今後の国や道の補助事業や町の単独事業についての進め方や考え方について伺う。

宮口町長 本町は十勝川の最下流地域で、地下水位も高く、暗渠排水の整備を必要とする所である。

現在は茂岩、長節地区で道営事業を実施中であり、新規地域として、二宮地区を要望している。また、今後の整備予定地域としては、平成24年礼文内地区、25年に湧洞地区、26年に牛首別地区、27年に礼作別地区を予定しているが、事業予算が対前年度60パーセント程度しか確保できず、今後の地区採択についても大変厳しい状況になるものと思っている。しかし、本町での農業経営には暗渠、明渠排水事業が不可欠であり、大変重要であると認識している。国の基

入院病床の有効利用

医師と協議を続ける

盤整備に対する予算確保についても、全力で要望するが、どうしても緊急的に営農に支障がある箇所の整備については、農協と協議をし、町単独の助成措置も可能な限り実施したい。

菅谷 誠議員 健康で心ふれ合う町づくりを理念として医療の充実を図られていくところであるが、豊頃医院2階の入院病床が長年に亘って休止中であるため、今後の有効利用について伺う。

宮口町長 豊頃医院は地域に密着した1次医療機関として通院治療とベッド数19床の入院施設を備え運営していたが、入院施設運営に伴う財政的負担がかかり過ぎるため平成10年4月からやむを得ず断念した。

菅谷 誠議員 現在の状況は遊休資産と言わざるを得ない。利用目的を明確にし、有効利用ということを考えていくべきと思うが。

宮口町長 いろんな形で模索をしているが入院病床の再開は難しく非常に苦慮しているところである。今後院長とも十分協議をしながら最善の方法を見つけていきたい。

菅谷 誠議員 救急医療体制の充実を図り、安心して住みなれた町で暮らせる喜びを共有できることが重要であるが、行政として町外医療機関との連携をどう位置付けているか。

宮口町長 医療に関する連携についての総合判断は院長に一任している。行政としての関わりは厚生病院での健康診断、人間ドック等契約を結びながら実施している。治療に関する場合はあくまでも医師の判断に基づいて医療行為を行っている。



町立豊頃医院

T P P 参加へ阻止活動を

十勝一丸となって行動する

大谷友則議員 国は突然T P P（環太平洋連携協定）に参加を検討するというところで協議を始めたところであるが、参加となれば例外なく関税が撤廃されて貿易が行われるということ、農業が基幹産業の我が町への影響は極めて大きい。しいては地域経済の衰退を招くという悪循環を考えると参加阻止に向け活動しなければならぬとともに、農業基盤整備や農業政策の強化を訴えていくべきと考えるが。

宮口町長 本町は高関税作物の作付けが多く、本町の95億円程度の農業産出額は壊滅的な影響を受け、又、漁業や雇用を含め商工業、サービス業にも大きな影響があり自治体の存続さえ危ぶまれる。今後もT P P 参加阻止に向け行動していく、農業基盤整備や農業政策の強化に向け十勝一丸となって行動していく。



上り	
コミバス	J R
豊頃医院～駅	豊頃～帯広
8:25⇒8:40	8:55⇒9:47
11:00⇒11:15	11:31⇒12:29
12:10⇒12:25	12:39⇒13:25
13:05⇒13:20	
14:45⇒15:00	

下り	
J R	コミバス
帯広～豊頃	駅～豊頃医院
	9:05⇒9:20
	11:40⇒11:55
	12:45⇒13:00
12:44⇒13:35	13:45⇒14:00
14:24⇒15:14	15:20⇒15:35
16:04⇒17:14	※17:20⇒17:28

※は町有バス大津線

都市間バス廃止の対応は 医師と協議を続ける

する。
(表参照)

大谷友則議員 帯広一釧路線の都市間バスが3月で廃止を検討されているようであるが、このバスを帯広への買い物や通院などに利用されている方々の足確保をどのように取り組もうと考えているのか。

宮口町長 廃止の協議を受けて担当課を中心に庁内に、交通対策検討会議を立ち上げ検討しているところであり、当分はJRとコミュニケーションバスや町有バスとの連携で対応

今後はより利用しやすいコミバス及び町有バス運行を模索しつつ高齢者や社会的立場の弱い方の足について積極的に取り組む。

	【都市間バス】	
	(上り)	(下り)
豊頃南町	9:12	16:46
中央新町	9:15	16:43
茂岩	9:19	16:40
帯広	10:00	16:00

■部分が廃止に対応するコミバス及びJRの運行時刻

広報とよころ

議会だより
一般質問

役場だより

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

豊頃中学校生徒が議会傍聴

豊頃中学校の3年生23人が、12月16日開催された第4回定例会を傍聴した。

この傍聴は、社会科公民分野の授業の一環として行われたもので、生活に密接した問題に対し、緊張感ある議場内において展開されている議員の一般質問と、それに対し答弁する町長との活発なやりとりを、生徒たちは一般傍聴者とともに関心深く聞き入っていた。



中学生の真剣なまなざし



委員会し。ポート

総務文教常任委員会

第3回定例会以降における閉会中の各常任委員会所管事務調査の内容を掲載します。

豊頃中学校施設整備の状況について

豊頃中学校は昭和51年4月開校以来、学校環境保持のための校舎等の維持管理に努めるとともに、安全な学校施設整備のため耐震補強工事も行っており、安心・安全な教育環境の維持に努めている。

平成21年度地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業により、同校施設の改修が本年度実施されたことから、実施後の改修状況について調査を実施した。



改善された教室の棚（豊頃中学校）

実施された改修等は、校舎屋根外壁及び内部塗装改修、校舎給水管改修、校舎屋上改修及び普通教室改修であり、総工費は4千496万1千円となっている。

また、工期は、学校運営の影響が最小限となるよう夏季休業期間を利用した7月から9月までに設定されていた。

改修にあたり、音楽室の吸音板の設置やトイレ回りの手洗い設備整備など質の高い改善も行われており、良好な改修状況となっていた。

学校環境を維持するための今後の課題として、職員玄関前の駐車場の補修、窓ガラスの更新等が必要であるとのことであるが、廊下の改修や校舎敷地内の樹木管理についても検討すべきであるとの意見が出された。

町有建物の用途変更について（豊頃
医院看護師宿舎）

平成2年度建築の豊頃医院看護師宿舎は、1戸当たりの面積が狭いことや独自の看護師の採用がない等の

状況から、平成20年度から現在まで同宿舎は未利用の状況となっている。また、今後においても入居者が見込めない状況にあるため、平成21年度地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業により、同宿舎を高齢者等の福祉住宅とするため本年度改修したことから、改修後の状況について調査を実施した。

改修前の同宿舎は1棟4戸で、1戸当たり面積は風除室を除き約25平方メートルであり、改修後は1棟2戸で、同面積は約50平方メートルとなっている。バリアフリーなど高齢者に配慮した仕様となっており、良好な改修状況であった。

今回の改修は、未利用施設の有効利用を図るための用途変更を目的としたものである。未利用施設に対する利用目的の見直しは、町有財産の有効利用の観点からも重要であり、今回の改修は優良な事業であることさらに、今後において、同様の見直しは早期に行うことなど、町有財産の有効利用が図られるよう対応されたいとの意見が出された。

意見書

- ▷ 北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書
- ▷ 地域医療と国立病院の充実を求める意見書

いずれも原案可決され、関係省庁に提出されました。